

素晴らしい家庭へ!

熱戦やプレーを

まるで移動スタジオ!
スポーツイベントで大活躍!
中継車に潜入!

4月14日に各務原カントリー倶楽部で行われたゴルフ第36回岐阜オープンクラシック2019。ぎふちゃんテレビでは熱戦の様相を生中継。車内には8人のスタッフがいて、どんな仕事をしているのか? UPるんちゃんが中継車の内部に潜入してきました!

ゴルフ 岐阜オープンクラシック
毎年、春に各務原カントリー倶楽部で行われ、プロや予選も勝ち抜いたアマチュアが熱戦を繰り広げる。



VTR
スポーツ中継には欠かせない、もう一度見せたい場面もスローなどで出す役割。リアルタイムに求められた映像を瞬時に呼び出し再生する。



音声
マイクやVTRなどの中継に関わる音声を完成させる仕事。



タイムキーパー
CMに入るタイミングや回数、VTRなど番組全体の時間を管理する仕事。



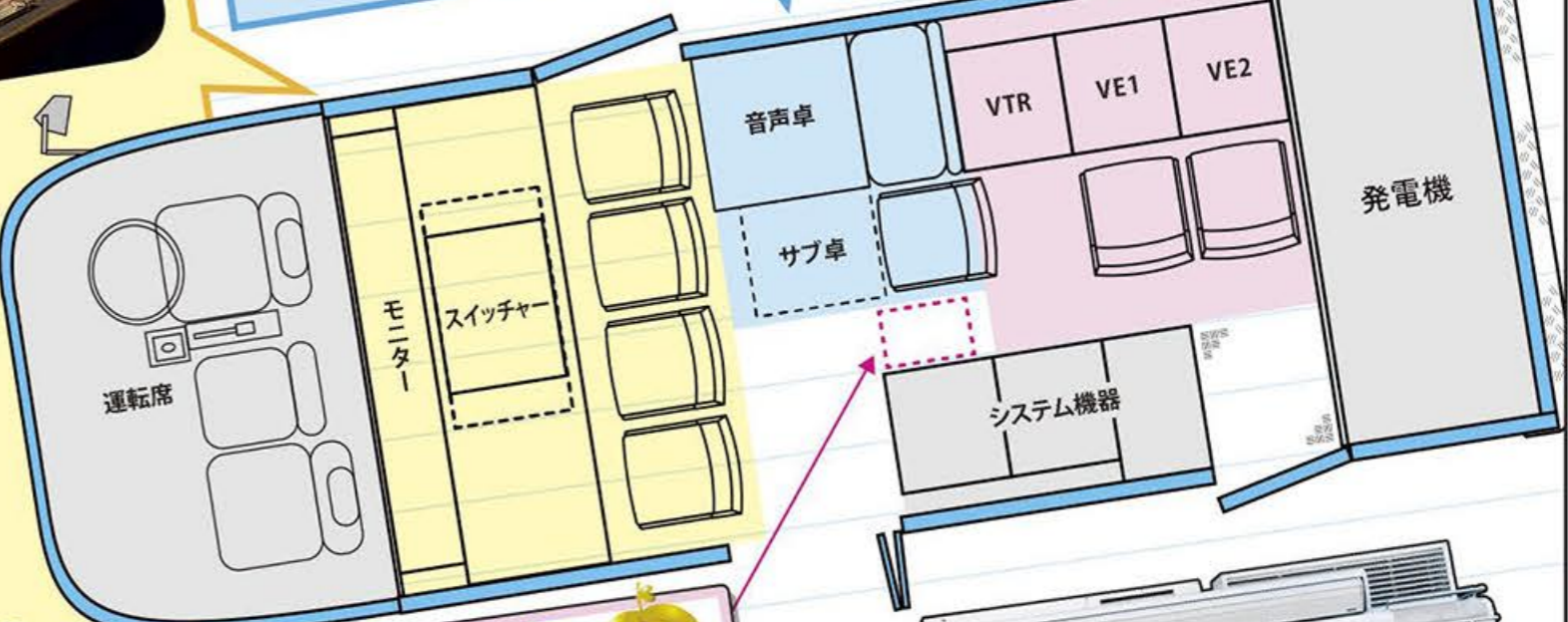
ビデオエンジニア
各カメラの明るさや色のバランスを揃える仕事。

UPるんちゃんメモ
ゴルフ中継では、空に上がったボールがはっきり見えるように「明るさ」の調整も特に気を付けていたよ。

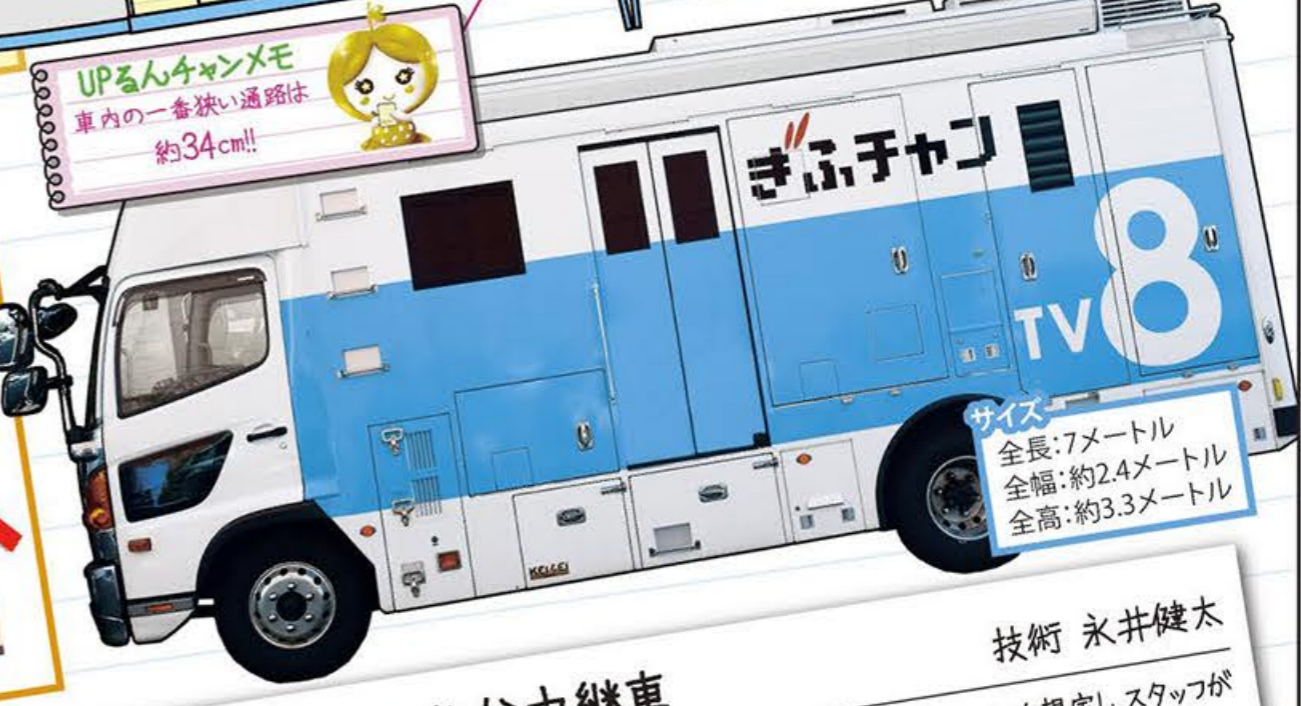
スイッチャー
複数のカメラで撮影した映像の中から必要な画面に切り替え、番組として映像を完成させる仕事。



ディレクター
競技の状況を見ながら、映像や音声など様々なスタッフに指示を出し、中継を取りしきる仕事。



UPるんちゃんメモ
車内の一番狭い通路は約34cm!!



サイズ
全長:7メートル
全幅:約2.4メートル
全高:約3.3メートル

中継番組はこうやって放送されている!
普段放送している中継の成り立ちを簡単に紹介!



複数のカメラで試合を撮影

スタッフのチームワークで中継を作り上げる



中継車からの映像が本社のテレビマスターに送られる

家庭のテレビで観戦!

チームワークでゴールを目指す!

制作 古田直也

主にスポーツ中継番組のディレクターを担当しています。その中で一番大切なのは事前の準備。選手やチームに取材して情報を集め、技術スタッフと撮影方法など入念にプランを練り、実況アナウンサーや解説者などのような情報を盛り込みます。それぞれのセクションが力を合わせ、中継を作り上げていきます。例えばFBC岐阜の中継には約50人のスタッフが携わっています。選手が勝利のためにパスをつないでゴールを目指すように、私たちは選手の雄姿を映像と音声で連携しながら、視聴者の皆さんをゴールに見立てて届けています。これからも競技とその魅力をしっかり届け、ぎふちゃんならではのの中継をしていきたいです。



スタンダードで万能な中継車

私は技術の担当として中継車の設計に関わりました。さまざまなシチュエーションを想定し、スタッフが使いやすい中継車を目指しました。小さな中継車から高校野球などの大型中継まで対応できるように設計してあります。内部は皆さんが思うほど広くありません。畳5枚ほどのスペースに、最大9人のスタッフが入り業務を行えるようになってます。狭いからこそ、本番中もお互いの顔を見て指示することが可能になり、ミスやトラブルなども避けられるのはいい点です。技術の仕事は完璧にこなして当たり前。失敗は許されない緊張感が常にありますが、中継先などで「ぎふちゃん見たよ」あの番組面白いね、など見てくれている方と話をすることが、原動力になっています。ぎふちゃんの中継車を見たら、親しみをもってもらえると思います。

